

WAVE

爪痕

Vol. 50

Shingo Amamiya Narita City Report

台風15号 停電状況

9月9日18:00時点 市内26,600件で停電

- ① 倒木 353件
 - ② ブロック塀倒れ 5件
 - ③ 道路冠水 5件
 - ④ 雨水流入 1件
 - ⑤ 電線切断 152件
 - ⑥ その他冠水 2件
 - ⑦ 建物等の倒壊 110件
 - ⑧ 道路法面崩れ 43件
 - ⑨ 連絡通路(歩道橋)破損 2件
 - ⑩ 下水道機能停止 19件
 - ⑪ 電柱倒壊 9件
 - ⑫ 成田市営水道断水 約500世帯
(豊住・八生・中郷・遠山地区、ウイング土屋)
 - ⑬ 公園の倒木等 52件
 - ⑭ 緑地の倒木等 27件
 - ⑮ 農業関連施設 650件
- (成田地区180件、下総地区81件、大栄地区389件)



成田市議会議員

雨宮しんご

令和元年度 9月定例会議を振り返り

成田市議会 9月定例会議は8月30日～9月26日の日程通り開催されました。台風15号の通過によって甚大な被害を受けるなか、議会を開催していたことに対し、多くのご批判をいただきました。心情的にはできる限り被災地区に入り対応にあたってみたい、寄り添っていました。

ですが、災害対応に追われながらも議会を前に進めたからこそ、台風15号の災害復旧のための補正予算3億2500万円を速やかに可決し、国に対して速やかな生活支援を図るよう意見書を提出し、議会の災害時対応マニュアルを策定して次の災害に備えることができました。

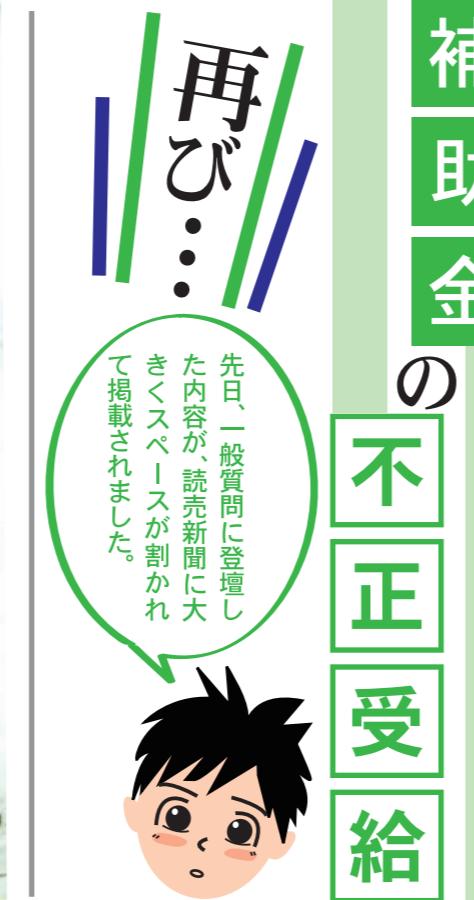
これからも市民の皆さんとの声に耳を傾けながら、議員の職責を果たすことで市政を前進させていけるよう力を注いでまいります。

空対協への補助金中止

成田市の経済団体などでつくる「成田空港対策協議会」(空対協)の会計担当理事が約700万円を着服したとして除名処分となつた問題を受け、市は6日、空対協には当面、市の補助金を交付せず、ほかの交付金を交付せずに、市の交付金を交付する。年度末に一括調査を行う方針を明らかにした。市議会定例会で雨宮真吾議員(政友クラブ)の質問に、小泉一成市長らが答弁した。市は空対協に対し、「団体運営費補助金」として年が答弁した。

成田市、着服問題受け

間108万円を交付してきた。2016年に別の文化団体の収支管理者が補助金を着服したとされる問題が明らかになり、市は17年度、各交付団体の適格性などを調査。空対協については、決算書などを基に「会計処理や補助金の使途は適正」と評価し、108万円の定期検査を行った結果、実績報告書と照合することで、使途が適正か調べる。来年度以降も、少なくとも3年に1度は各団体を調べる方針だ。



義を見てせざるは勇無きなり。
これからも、決して臆することなく是々非々で市政をチェックしてまいります。

成田市は、この短期間に補助金交付団体の不適切な会計処理が二度も明らかになつたという事実を重く受け止めるべきです。今回、再び私の提言(一般質問)を受けて、市は、『全ての団体の一斉検査、年度末に領収書の提示を求め、決算書、実績報告書と照合することで、使途が適正か調べることになりました。

あましんHP!
雨宮しんごは、市民の皆さんに役立つ情報や、成田市の今!をお伝えすべく、活動日記を積極的に更新しています!
是非ご覧ください!



www.ama-shin.net

雨宮真吾事務所

〒286-0018 成田市吾妻3-48-28
TEL: 0476-27-5918/FAX: 0476-37-7608

■1978年10月31日(40歳)
■成田市議会議員(4期)
■明治大学大学院 修士
■議会運営委員会 委員長

■空港対策特別委員会
■建設水道常任委員会
■一般社団法人 成田青年会議所OB
■成田商工会議所青年部 副会長

■全国若手市議会議員の会
■関東若手市議会議員の会 副会長
■日本サーフィン連盟公認インストラクター

雨宮しんご

検索

www.ama-shin.net

info@ama-shin.net

台風15号

停電、倒木、建物破損…爪痕大きく

■台風15号
9月8日夜から関東を縦断。
激しい風と雨に見舞われました。
最大瞬間風速は成田空港で45.8 m/s
(観測史上1位)を観測しました。

■東京都心部につながる主要な交通機関の運休が相次ぎました。
約1万3000人が空港で夜を明かしました。

■成田市でも、小屋が強風に飛ばされ、建物倒壊が出ました。
倒木などで電線が切断、各地で大規模な停電が12日間も続くなど、大きな爪痕を残しました。

■千葉県の農林水産業の被害額は東日本大震災(346億円)を超えて、367億円にのぼりました。(9/26現在)

■停電規模で言えば東日本大震災以降最大の自然災害。
死者2人、重傷6人、軽傷74人。
停電93万戸(最大)成田市停電26300世帯(最大)市内40%が不便を強いられました。

■長引く停電と断水で、クーラーも使えず、水分補給も満足にできないまま熱中症で命を落とすケースも発生しました。

■東日本大震災、2016年4月の熊本地震や昨年7月の西日本豪雨においても、停電や通信の途絶が断続的に発生、行政の被害状況把握が課題になっていましたが、今回も同様に被害状況の把握に時間を要しました。

■限られた資源や人員を最も効果的に展開させるためには、被害状況の把握が必須です。
東京電力による情報の出し方や、行政との情報連携を今後解決すべき課題と位置付けて対応を求めます。



国土交通省
10月13日23時の写真。
すでにギリギリの状況。

台風19号

警戒レベル4 避難警告が発令!

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
高 5	既に災害が発生している状況です。 命を守るために最善の行動をとりましょう。 (市町村が発令)	災害発生情報 ※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令
危 4	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内より安全な場所に避難しましょう。 (市町村が発令)	避難勧告 避難指示(緊急) ※3 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令
危 3	避難に時間を使う人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)
2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
低 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)